

保健婦だより

受けよう！結核レントゲン検査

大正から昭和初めにかけて「国民病」とおそれられた結核も、皆の努力で年々減っています。国民の死亡順位を見ると、昭和25

年までは常に一位を占めていたのに、昭和55年には十三位となっています。長門市でも、昨年は、全

死亡者235人中、結核による死亡者は1人でした。現在、死因の上位を占める、がん、心臓病、脳卒中といった成人病とは対象的に、結核はこわい病気ではないという考え方がひろまっていますが、今なお全国で年間8万人余りの新しい患者が発生しており、既にかかっている方を合わせると56万人を超えるほどになります。このことから

結核を見つかるには、レントゲン検査と菌の検査をします。このうちレントゲン検査は、毎年一回受けるように決められており、学校や職場で行なわれる外に、営業の方、勤めていない主婦や老人を対象とした住民検査が、長門市でも実施されています。

今年も4月に実施し、受診結果は次表のとおりです。

このように、長門市全体では、10人のうち3人しかレントゲン検査を受けていないことになり、4月に受けることができなかつた方のために10月5日～10月9日まで

	対象者	受診者	率
通	1,719	389	23
仙崎	4,164	1,257	30
深川	6,939	2,233	32
俵山	1,116	644	58
合計	13,938	4,523	36

最大の伝染病の一つです。結核は、まだまだ安心できない

での5日間、再度実施されますので、是非受けましょう。詳しい日程は、後日広報にてお知らせします。

燃料に使用する場合に課税されるもので、農業、漁業等特定の目的に使用されるものについては、申請により課税免除されます。

軽油引取税は、道路や交通安全施設の新設、改良の費用にだけ使うことを目的とした税です。

山口県の昭和五十五年度の軽油引取税は約七億円となっており、小

軽油は県内の販売店で買ひましよう

軽油は県内の販売店で買ひましよう

軽油引取税は、小

売店や消費者のみなさんが特約業者又は元売業者の方から軽油を購入されたときに支払われる代金に含まれており、特約、元売業者の

ることにより、山口県の税収もふえ、県内の道路整備も一段と促進されることになるわけです。

※不明の点はお気軽に県税事務所へおたずねください。

なお、この税は主として自動車

また、二十歳以上の学生（昼間部）の方も国民年金に必ず加入しなければならぬ人からはずされています。大学生の方は、高齢年金については卒業してからで十分だと考えられているからです。

しかし、在学中に事故にあい障害者となったような場合、この障害者については一生年金面での保障はありません。

国民年金に任意加入されれば、このような事故に対する年金が受けられます。まちがいなくおとずれる老後の年金が十分であるかはもちろん、突然の事故に対する年金のことも含めて、任意加入についてお考えになってみてはいかがでしょうか。

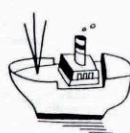
※詳しくは市民課国民年金係へおたずねください。
☎2111 内線294

石油燃焼機器、設備等の整備修理（販売）業者を対象に基本的な知識と専門的な技術を身につけ、石油燃焼機器の正しい設置及び点検・整備のできる「熟練者」の養成をはかることを目的として次のとおり技術講習会が開かれます。

◆対象：石油燃焼機器の設置及び点検・整備・販売業務に従事している人。
◆開催日時・場所
・十月五日から十月七日まで（午前九時～午後五時）
（午前九時～午後五時）
◆講習の内容
・山口県歯科医師会館
・燃焼理論等の基礎知識
・燃焼設備等の設置
・燃焼設備等の点検整備等
◆受講要領
・受講料：一万二千元
◆申込締切日
・九月十日（木）
◆申込書用紙
・長門地区消防本部にあります。
※詳しくは、長門地区消防本部予防課へおたずねください。
☎23111

石油燃焼機器 技術講習会

船内の安全と衛生はみんなが主役



9月1日から9月30日まで

9月は船員労働安全月間です。この月間は、安全で衛生的な海上職場環境をつくるために行われる運動です。

長門地区船員労働安全衛生協議会では、船舶所有者に対し、月間中緑十字旗の掲揚、救命消防設備の点検などをはじめ次のことを行います。

- ◆船舶飲用水の現地検査等
- ・実施日 9月4日（仙崎港）
- ◆船舶安全衛生講習会
- ・日時 9月29日（火）13：30から
- ・会場 仙崎漁協ビル3階

国民年金に任意加入できる人へ

サラリーマンの奥さんと学生や、ほかの年金制度から年金を受けられる人は、希望して国民年金に加入することができます。

サラリーマンの奥さんは、主人が加入されている厚生年金や共済組合などの制度から主人を通じ間接的に保護されています。したがって、国民年金に必ず加入しなければいけない人からはずされています。

国民年金に任意加入されれば、このような事故に対する年金が受けられます。まちがいなくおとずれる老後の年金が十分であるかはもちろん、突然の事故に対する年金のことも含めて、任意加入についてお考えになってみてはいかがでしょうか。

※詳しくは市民課国民年金係へおたずねください。
☎2111 内線294

